



2018年7月30日

各 位

会 社 名 テクノプロ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 西 尾 保 示
(コード番号：6028 東証第一部)
問合せ先 取締役 兼 CFO 佐 藤 博
(TEL. 03-6385-7998)

当社子会社による株式会社O2への出資に関するお知らせ

当社の連結子会社である株式会社テクノプロ（以下、「テクノプロ」）は、製造業向けコンサルティング事業などを展開する株式会社O2（オーツー、以下、「O2」）への出資を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 出資の背景、理由

少子高齢化や生産労働人口の減少が進むなか、製造業の持続的な発展のため、モノづくりの現場における生産性や品質等を向上させる生産プロセス技術の高付加価値化が求められており、実現するためのソリューションサービスに対するニーズが高まっています。一方、そのキーテクノロジーとなるIoT、AI、ビッグデータ活用、ロボティクスなど第4次産業革命を支える技術分野においてエンジニアが大幅に不足しており、社会全体での育成が課題となっています。

O2は、製造業に特化したコンサルティングで豊富な実績を残しているだけではなく、グループ会社において高付加価値型エンジニア育成のための研修プログラムの提供や、熟達者といわれるスペシャリストの技術・技能のAI化と実務適用支援、それらの知見・技術を実装した樹脂金型の設計・製造なども手掛けており、技術コンサルティングのノウハウを中心とした製造業特化型のソリューションプラットフォームとして成長を続けている企業です。

当社グループは、2017年7月31日に公表した新中期経営計画における成長戦略の一つとして自社エンジニアの高付加価値化を掲げ推進しています。その実現に向けた取り組みを先行する形で、テクノプロ最大の社内カンパニーであるテクノプロ・デザイン社はO2との協業を2015年からスタートさせ、自社エンジニアに対する「技術コンサルタント育成事業」や「新規開発力を有する設計者育成事業」といった人材育成に取り組んできました。現在、育成研修を終えたエンジニアは、テクノプロ・デザイン社の取引顧客にて活躍、あるいはO2のプロジェクトに参画するなど、社会に対するソリューションサービスの提供を実現しています。

テクノプロ・デザイン社は、その協業の成果をふまえ、「製造業向け技術コンサルティングをはじめとする高付加価値領域の継続的人材育成と事業拡大」、「O2グループが保有する自然言語処理AIであるORGENIUS™（オルジニアス）^(注)の共同開発」、「課題解決型の共同提案営業」を目的とし、O2への出資を通じて協力関係をさらに強化することとしました。

以上のとおり、テクノプロは今回の出資により、これまで取り組んできた技術コンサルティング領域における協業事業のさらなる拡大に加え、当社グループが現在注力しているAI・データ解析分野におけるエンジニア人材の増強や事業拡大、新ソリューションの導入による営業力強化と市場への高付加価値ソリューションの提供を図ってまいります。

2. 出資のスキーム

O2が実施した総額約2.5億円の第三者割当増資の引受先は、テクノプロ、みらい創造一号投資事業有限責任組合（運営：株式会社未来創造機構）、みずほ成長支援第2号投資事業有限責任組合（運営：みずほキャピタル株式会社）、三菱UFJキャピタル6号投資事業有限責任組合（運営：三菱UFJキャピタル株式会社）、つくば地域活性化ファンド投資事業有限責任組合（運営：筑波総研株式会社）となります。

3. 出資先の概要

- | | |
|------------|-----------------|
| (1) 名称 | 株式会社O2 |
| (2) 主な事業内容 | 製造業向けコンサルティング業務 |
| (3) 設立 | 2004年3月17日 |
| (4) 本店所在地 | 東京都港区港南1-6-34 |
| (5) 代表者 | 代表取締役社長 松本 晋一 |

4. 今後の見通し

本件が2019年6月期の当社連結業績に与える影響は軽微であると判断しております。

以上

(注) ORGENIUS™(オルジニアス)は、O2のグループの株式会社 LIGHTz (ライツ) が開発した、Expertized AI=熟達者(スペシャリスト、エキスパート、ベテラン、匠)が持つ経験や知見、洞察の視点を「BrainModel™(ブレインモデル)」と称する言語ネットワークモデルで「汎知化™(はんちか)」し、活用する自然言語処理型AIのことで